

生命尊重等に関する学習指導要領の主な記述

	小学校	中学校	高等学校
道徳	(総則) ○ 道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を家庭、学校、その他社会における具体的な生活の中に生かし、豊かな心を持ち、……その基盤としての道徳性を養うことを目標とする。		
	○ 生命がかけがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重する。	○ 生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する。	
国語	(教材選定の観点) ○ 生命を尊重し、他人を思いやる心を育てるのに役立つこと。		
公民			○ 人間の尊厳と生命への畏敬などについて、倫理的な見方や考え方を身に付けさせる。 ○ 生命、環境、家族・地域社会などにおける倫理的課題を、自己の課題とつなげて探究させ、人間としての在り方生き方について自覚を深めさせる
理科	○ 身近に見られる動植物を調べること等を通して生物を愛護する態度を育てる。 ○ 動植物の発生や成長などを調べること等を通して、生命を尊重する態度を育てる。	○ 生物とそれを取り巻く自然の事物・現象を調べる活動を通して、自然環境を保全し、生命を尊重する態度を育てる。	
生活	○ 動植物を飼ったり育てたりして、それらは生命をもっていることや成長していることに気づき、生き物への親しみをもち、大切にする。		
技術家庭・家庭		○ 幼児の発達と生活の特徴を知る。 ○ 幼児と触れ合うなどの活動を通して、幼児への関心を深める。	○ 乳幼児の心身の発達などについて理解させ、子どもを生き育てることの意義を考えさせる。 ○ 高齢期の特徴と生活及び高齢社会の現状と課題について理解させる。 ○ 乳幼児や高齢者との触れ合いや交流などの活動を取り入れる。
保健体育	○ 健康の大切さを認識する。	○ 生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。	○ 生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。